令和８年度　第１回市川市食育推進関係機関連絡会

日時：令和８年７月１６日（木）
午後３時～５時
場所：保健センター４階大会議室

【次第】

司会　保健センター健康支援課長　髙城　晃

１．開会

２．挨拶　　保健部長　横山　京子

３．代表者及び関係職員紹介　　※名簿別紙

４．内容
（１）第４次市川市食育推進計画中間評価について
（２）令和８年度市川市の食育推進について
（３）代表者及び関係機関等の取組紹介、
第４次市川市食育推進計画の数値目標のうち、中間評価で「現状値が改善しなかった指標」、「現状値が変化していない指標」について団体で取り組んでいること、今後取り組みたいと考えていること

５．閉会

令和８年度市川市食育推進関係機関連絡会名簿

敬称略

No.	区　分	推薦等の機関・団体	氏　名
1	医療関係	一般社団法人市川市医師会	大野　京子
2	医療関係	一般社団法人市川市歯科医師会	鈴木　淳
3	市民教育関係	市川市 PTA 連絡協議会	池口　香織
4	市民教育関係	市川市私立幼稚園協会	山﨑　敦雄
5	市民代表	市川市食生活サポート協議会	三吉　純子
6	生産者関係	市川市漁業協同組合	澤田　洋一
7	食文化関係	千葉伝統郷土料理研究会	菅谷　純子
8	流通関係	市川市農業協同組合	小野　歩　＊
9	流通関係	市川商工会議所	中野　公二
10	消費者関係	市川市消費者モニター友の会	塩田　喜美子＊
11	社会福祉関係	社会福祉法人 市川市社会福祉協議会	菊地　薫　＊
12	行政関係	千葉県市川健康福祉センター （市川保健所）	田邉　雅子
13	学識経験者	和洋女子大学	髙橋　佳子
14	生産者関係	生産者代表	山本　健太郎

＊：新規代表

第４次市川市食育推進計画中間評価について

３．数値目標に対する達成状況（第４次市川市食育推進計画中間評価より抜粋）

No.	指標項目		策定時（R4年度）	策定時（R5年度）	現状値（R7年度）	目標値（R9年度）	評価
1	食育に関心のある市民の割合		82.9%	83.0%	89.2%	90%以上	○
2	朝食を欠食する市民の割合	小学生	4.2% ※1	－	2.7% ※5	0%を目指す	○
		中学生	9.3% ※1	－	6.9% ※5		○
		20歳～30歳代	30.1% ※2	－	24.7% ※6	15%以下	○
3	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	小学5年生	週13.2回 ※2	－	週11.8回 ※5	現状値を維持	×
		中学2年生	週10.9回 ※2	－	週11.3回 ※5	現状値を維持	◎
4	主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上、ほとんど毎日食べている市民の割合	全体	61.7%	64.1%	65.3%	70%以上	○
		20歳～30歳代	38.6%	43.4%	54.0%	55%以上	○
		30歳～50歳代男性	57.9%	55.1%	56.7%	70%以上	△
5	1日2食以上野菜料理を食べる市民の割合		59.9%	59.7%	62.3%	70%以上	△
6	生活習慣病予防や健康づくりのために食生活や運動に気をつけ適正体重の維持を意識している市民の割合	20歳～30歳代女性	58.6%	54.4%	75.7%	70%以上	◎
		30歳～50歳代男性	56.8%	61.0%	75.8%	70%以上	◎
7	ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合		47.8%	48.9%	54.8%	55%以上	○
8	塩分のとりすぎに気をつけている市民の割合	30歳～50歳代男性	61.2%	61.8%	70.4%	70%以上	◎
9	栄養教諭等による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数の増加		9.5回 ※3	15.9回 ※4	14.8回 ※7	月12回以上	◎
	学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）の維持・向上		75.2% ※3	72.0% ※4	71.5% ※7	現状値より向上	△
10	直近1年以内に農業体験に参加したことがある市民の割合		39.8%	39.6%	37.6%	55%以上	×
11	市川市で水産物がとれることを知っている市民の割合		－	74.6%	77.5%	現状値より向上	◎
12	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合		80.1%	83.2%	87.7%	85%以上	◎
13	日本の食文化や郷土料理、家庭で受け継がれてきた料理や作法を知っており、伝えている市民の割合	知っている	－	60.4%	66.3%	伝えている50%以上	◎
		さらに伝えている	－	56.6%	56.4%		
14	食品ロス削減のために必要な分だけ購入、調理している市民の割合		－	89.0%	91.2%	現状値より向上	◎

策定時：令和４年度「市川市 e-モニター制度による食育アンケート調査」
※１：令和３年度市川市児童生徒のライフスタイル実態調査
※２：健康いちかわ２１　令和３年度健康に関するアンケート調査
※３：令和４年度千産千消デー実施報告
R5年度：令和５年度「市川市e-モニター制度による食育アンケート調査」
※４：令和５年度千産千消デー実施報告
現状値：令和７年度「いちモニ（市川市Webアンケート）による食育に関するアンケート調査」
※５：令和６年度市川市児童生徒のライフスタイル実態調査
※６：健康いちかわ２１　令和６年度健康に関するアンケート調査
※７：令和６年度千産千消デー実施報告

※第３次計画最終年となる令和４年度に実施した「食育に関するアンケート」を策定時の数値とするが、第４次計画で変更となった指標（対象変更:NO.3）、表現変更:NO.6、NO.10、NO.11、NO.13）、新設（NO.14）については、初年度である令和５年に再度アンケートを実施し策定時の指標とする。

第３章　第４次計画後半に向けて

１．指標項目に対する達成状況の結果

◎	９項目	・朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数（中学２年生） ・生活習慣病予防や健康づくりのために適正体重の維持を意識している（20 歳～30 歳代女性、30 歳～50 歳代男性） ・塩分のとりすぎに気をつけている（30 歳～50 歳代男性） ・栄養教諭等による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数 ・市川市で水産物がとれることを知っている ・食品の安全性について基礎的な知識を持ち判断する ・食文化や郷土料理、家庭で受け継がれてきた料理や作法を伝えている ・食品ロス削減のために必要な分だけ購入、調理している
○	７項目	・食育に関心がある ・朝食を欠食する（小学生、中学生、20 歳～30 歳） ・主食・主菜・副菜をそろえた食事を１日２回以上食べている（全体、20 歳～30 歳代） ・ゆっくりよく噛んで食べる
△	３項目	・主食・主菜・副菜をそろえた食事を１日２回以上食べている（30 歳～50 歳代男性） ・１日２食以上野菜料理を食べる ・学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）
×	２項目	・朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数（小学５年生） ・直近１年以内に農業体験に参加したことがある

《評価》◎：現状値が目標値を達成している指標
○：現状値が目標に向かって改善している指標（＋５％以上）
△：現状値が変化していない指標（±５％未満）
×：現状値が改善しなかった指標（－５％以上）

・20 歳代の若い世代に朝食の欠食や食事バランスなど健全な食生活を送っていない人が多い。
・30 歳代の女性は、仕事や子育てと忙しい時期でもあり、知識や意識はあっても実践が難しい。
・30 歳～50 歳代の男性は、関心がある人とない人の差がある。

◎目標値を達成できなかったのは、「共食」と「農業体験」の２項目だが、改善傾向にある項目、目標値に達している項目についても引き続き啓発をしていく。

第５次食育推進基本計画における目標・指標・目標値

参考資料

国民一人一人が自ら実践する目標（個人目標）

	＜指標＞	現状値（令和７（2025）年度）	目標値（令和12（2030）年度）
食育に関心を持つ	・食育に関心を持っている国民の割合	79.1%	90%以上
家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	・朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週8.6回	週10回以上
朝食の欠食を減らす	・朝食を欠食する子供の割合	6.4%	５%以下
	・朝食を欠食する若い世代の割合	28.2%	25%以下
栄養バランスに配慮した食生活等を実践する	・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている国民/若い世代の割合	36.1%/23.8%	45%以上/30%以上
	・食塩/野菜/果物摂取量の平均値	9.6g/258.7g/78.1g（令和６（2024）年度）	7g/350g/200g（令和14（2032）年度）
	・生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	63.2%	70%以上
ゆっくりよく噛んで食べる	・ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	46.2%	55%以上
農林漁業体験を経験する	・農林漁業体験を経験した国民（世帯/本人）の割合	57.1%/45.5%	60%以上/50%以上
生産現場等を意識して食品等を選ぶ	・産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	66.0%	70%以上
	・環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	57.1%	60%以上
食品ロス削減のための行動をする	・食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合	77.2%	80%以上
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する	・食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	68.6%	75%以上

地域等が主体となって取り組む目標（地域目標）

	＜指標＞		
学校給食における地場産物等を活用した食育に関する取組等を増やす	・栄養教諭による地場産物等に係る食に関する指導の平均取組回数	月14.1回	月15回以上
	・学校給食における地場産物/国産食材を使用する割合(金額ベース)を現状値（令和７年度）から維持・向上した都道府県の割合	－	90%以上/90%以上
地域等での共食の機会を増やす	・地域等で共食したいと思う人が共食する割合	70.1%	75%以上
地域等で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承する取組を増やす	・地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	48.8%	55%以上
	・郷土料理や伝統料理を月１回以上食べている国民の割合	54.7%	60%以上
食育の推進に関わるボランティア等の人材の数を増やす	・食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	30.3万人（令和6（2024）年度）	31万人以上
推進計画を作成・実施している市町村を増やす	・推進計画を作成・実施している市町村の割合	92.9%	100%

内容２

市川市の食育の推進について

（１）令和７年度　食育の推進報告

○　食育関係課会議の開催（年４回）　５月、９月、12 月、３月
○　市川市食育推進関係機関連絡会　※会議公開指針に基づく開催
　第１回　令和７年　10 月 16 日　30 名出席
　第２回　令和８年　１月 29 日　29 名出席

○　食育関係課協同の取組
・食育講演会　９月 27 日（土）市川市保健センター
「元気が出る災害食」
　講師　鈴木佳代世子氏
「エコノミークラス症候群予防の簡単体操」
　講師　（株）ティップネス　インストラクター
同時開催　食育展示
参加者 90 名
・食育展示
・リーフレット「いちかわの食育探検」の配布（イベント、展示、窓口、幼児健診等）
・広報いちかわ６月７日号「食育特集」
「おいしく、かしこく野菜を食べよう」

（２）令和８年度　食育の推進報告および計画

○会議予定等
① 食育関係課会議の開催　　年３回（５月、９月、３月）
② 市川市食育推進関係機関連絡会　年１回（７月 16 日）

○取組（広報活動、イベント、事業等）
① 広報活動
・食育月間６月１日（月）～６月 30 日（火）
懸垂幕：第２庁舎、電子掲示板：第１庁舎　デジタルサイネージ掲示
・広報いちかわ６月６日号「食育特集」
「おいしく、楽しく、一緒に食事をしよう」
・食育展示　６月 12 日（金）～６月 25 日（木）生涯学習センター1 階
テーマ「いちかわの子どもへの食育の取組ご紹介」
・食育の日 PR シール、リーフレット「いちかわの食育探検」配布
・市川市公式 Web「適塩ヘルシーレシピ」更新、ＳＮＳ配信

② 食育講演会　5 月 23 日（土）全日警ホール

・「今日から使える！食べない子が変わる魔法の言葉」

講師　日本会食恐怖症克服支援協会代表理事　山口健太氏

参加者 89 名（内子ども 14 名）

③ 食育関係課の事業等

健康支援課

依頼の栄養教育事業（自治会、婦人会等）

食生活サポーターの活動支援

（おとなの食育講習会、おやこの食育講習会、

放課後保育クラブ健康教育､市民まつり､移動販売における食育啓発）

地域ケア会議に出席し栄養・食生活に関する助言

生活習慣改善講座

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（シニアのための

高血圧予防講座）

こども家庭相談課

パパママ栄養クラス・離乳食教室等の母子健康教育、依頼の栄養教育

（こども館等）

農政課

「市民農園」　5 月～10 月、

「おうちでちょこっと菜園」　5 月～8 月、

「いちベジ」フェア６月、「市川のなし」フェア 8 月、

「農水産まつり」12 月

食と農　「市川市の農業」に関する出前授業　5 月～9 月

臨海整備課

魚のさばき方教室、いちかわ三番瀬まつり、

市内鮮魚店、行徳支所での市水産物販売（スズキ 5 月、生ノリ 1 月）、

学校給食での水産物利用、農水産まつりへの参加、ノリ漉きを行う

学校への支援、イオンとの連携

幼保施設管理課

各園の食育計画に基づいた取組（野菜の栽培、クッキング他）

季節感のある献立、伝承行事食、食育だよりによる情報提供

保護者の給食試食

レシピ動画掲載（テーマ：噛むメニュー、人気のメニュー）

保健体育課

各学校の食に関する指導の全体計画に基づいた取組
市川市ヘルシースクールプランでの食育の取組
学校給食を中心とした取組（地場産物の活用、お話給食、試食会他）
栄養教諭を中心に食育推進の取組、千産千消デー（千葉県産食材使用）
和食育の取り組み

総合環境課

食品ロス削減の取組
フードドライブ、
出前授業「テーマ：資源物とごみ」（小学校・自治会からの要望で実施）

内 容 3

取 組 紹 介

一 般 社 団 法 人 市 川 市 医 師 会

一 般 社 団 法 人 市 川 市 歯 科 医 師 会

市 川 市 PTA 連 絡 協 議 会

市 川 市 私 立 幼 稚 園 協 会

市川市食生活サポート協議会

市川市漁業協同組合

千葉伝統郷土料理研究会

市川市農業協同組合

市川商工会議所

市川市消費者モニター友の会

社会福祉法人　市川市社会福祉協議会

千葉県市川健康福祉センター
（市川保健所）

和 洋 女 子 大 学

生 産 者 代 表